

自由民権運動

2年 組 番 名前

民撰議院設立の建白書（意見書）：国民の選挙によって議会を開設せよ

「いま政権は皇室にも人民にもなく、薩長の高級役人だけがにぎっている（藩閥政治）。法令がつぎつぎに出されては、すぐに、改正されるありさまで、政治や刑罰が私情に左右され 賞罰も愛憎によってきめられている。

言論の道はふさがれ、その苦しみを訴える方法もない。
こうした状態を救う方法は、天下に公議世論をさかんにして、民選議院をたてるほかない」（一部要約）



大久保利通の考え

日本は、明治維新によって外国の植民地にならずにすんでいる。しかし、今のままだとしてもイギリスなどの強い国々と対等につきあっていることはできない。これからはやむを得ず、日本をイギリスのような工業の国にし、貿易を進めることだ。そして、もう一つ、日本のお金で国民の生活を豊かにし、イギリスと同じくらい強い軍隊を持つことだ。ただ、それは決して簡単なことではない。なぜなら、国民に大きな苦勞や我慢をお願いしなくてはならないようなことも多いからだ。

しかし、鎌倉時代から数百年間も武士に支配されてきた日本の国民には日本が自分たちの国だという気持ちがまだまだ弱い。国全体のことを考えられる国民は、ほとんどいないといっているだろう。

このような国民の意見を、今すぐ政治に生かす仕組みをつくるのは、国のためにも国民のためにもならないのだ。
今、何をしなくてはならないかを一番理解している、私たち政治家や役人がリーダーとなって政治を進めるのが、今の日本では一番いいのだ。（部分要約）



新政府（大久保利通）の考えに 賛成 ・ 反対 だ。

新政府（大久保利通）の考えについてどう思うか
（過去の歴史を踏まえて・・・今までの〇〇だったから、賛成・反対です。）

気になった・・・または、参考になった意見

| | |
|----|----|
| 賛成 | 反対 |
|----|----|

最終的に・・・

| | |
|---------|--|
| 賛成 ・ 反対 | |
|---------|--|